

福井県鯖江市立中河小学校

(概要)

- ・ 児童生徒数（クラス数）：238名（9クラス）
- ・ 構造・階・面積・事業費：鉄筋コンクリート造、2階建、4,480㎡、13.6億円
- ・ エコスクールの事業タイプ：省エネルギー・省資源型、自然共生型、木材利用型、その他
- ・ 整備期間：（検討期間：H16、工事時期・期間 H16.07～H17.09）
- ・ 要旨

校舎は、地域材を活用した内部壁の板張り・床・作り付け家具等や自然採光を採用している。また、校地に隣接する浅水川の堤防を取り込んだ「川端遊歩道」・中庭・建物周辺の芝張があり、将来を担う児童の視点で「共生」、「循環」、「連携」、「育成」を考え、主体的に行動できる豊かな人間性の育成を図っている。

(エコスクール化の内容)

木材利用型：地域材活用

内部壁の板張り、床、作り付け家具等

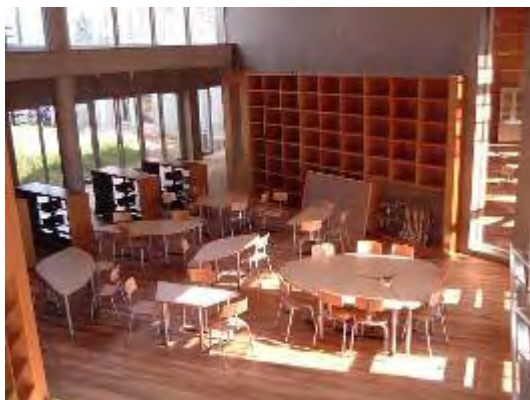
自然共生型：樹木植栽、緑化

校地に隣接する浅水川の堤防を取り込んだ「川端遊歩道」、中庭、建物周辺の芝張。

その他：自然採光（天窓、ライトシェルフ）



中河小学校
東側外観



地域材を活用した図書コーナーの床、作り付け家具等



低学年教室から出入りできる芝生のプレイスペース

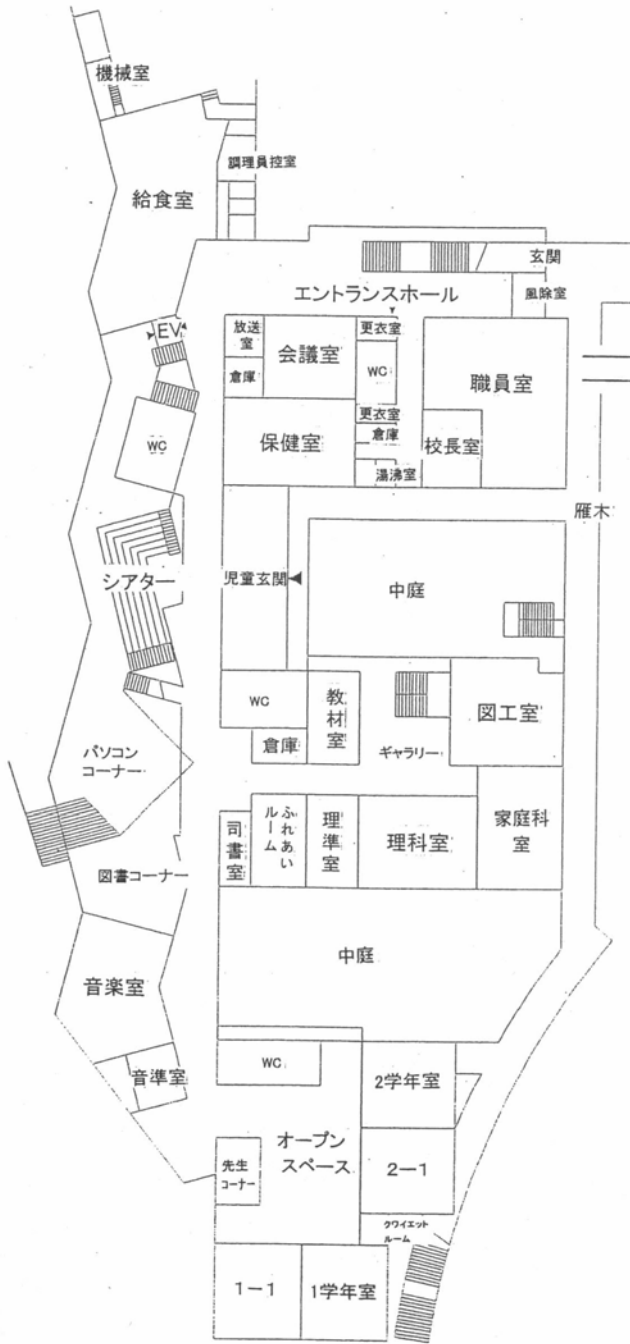


校舎西側にある浅水への川端遊歩道の植栽

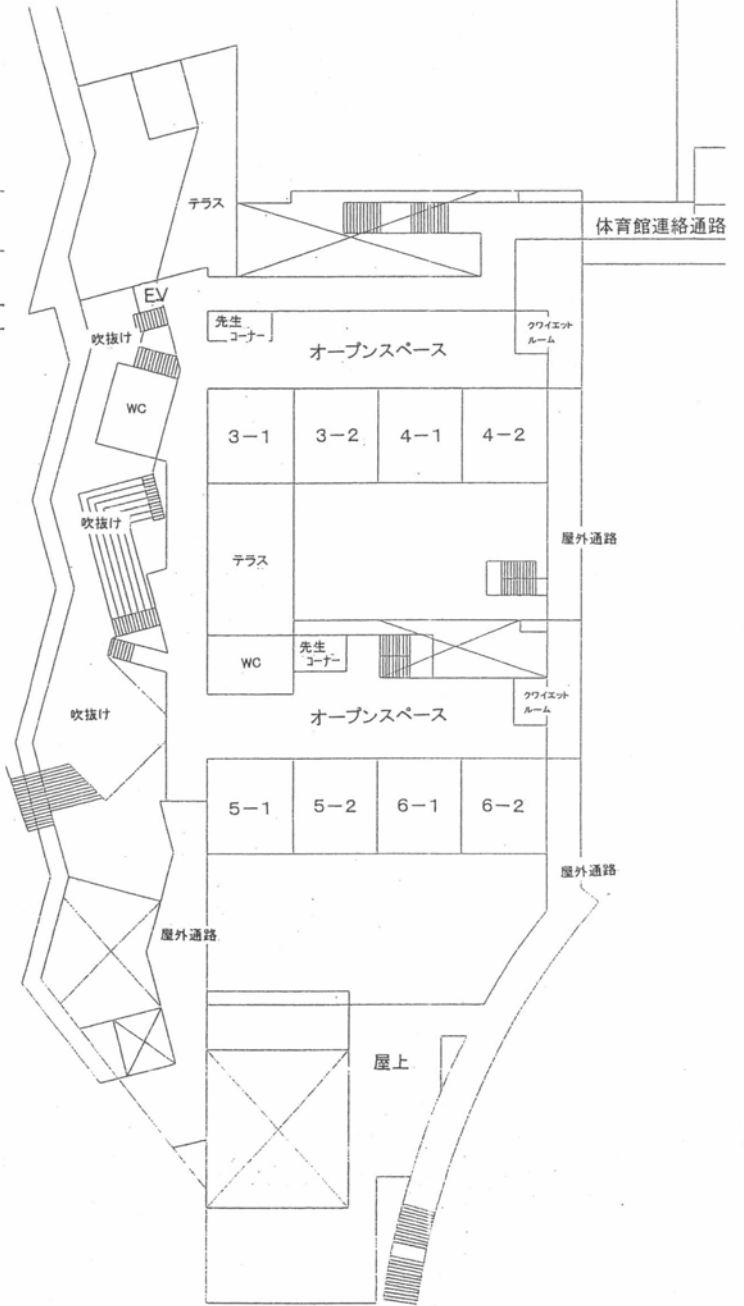


自然採光をとるトップライトとハイサイドライト

校舎平面図



1階平面図



2階平面図



(エコスクール化の効果)

各教室の教卓の上に写真のような天窗が設置されている。この窓は自然採光を教室の中に効果的に行うものである。電気をつけたような明るさがあり省エネルギーの効果がある。



(環境・エネルギー教育への活用)

木材を利用した板張りのシアターは、階段状になっているため、全校児童が腰をかけ集会を行ったり発表会に利用したりしている。

この写真は、総合的な学習の時間に調べたことを学校公開日のときに、保護者の前で発表している様子である。

板張りの床は、柔らかい感触であるため、長時間の発表を疲れなく聞くことができ保護者にも好評である。



本校に隣接している環境教育支援センター〈エコネット〉と連携し、いろいろな環境教育の指導や協力を受けている。

特に、近くのビオトープでは草むらや水辺の生き物の観察を理科の時間などに行っている。

この写真は、3年生がビオトープの中の水田で環境教育支援センターの講師の方に指導を受けながら稲刈りを行っている様子である。

生きた教材が身近にあることで、現代の子どもたちにとって心に残る環境教育を行うことができる。



本校の西側に流れている浅水川を利用し、5年生では総合的な学習の時間に、この川的环境について学習している。水の汚れや周辺の生物の調査などをグループごとに課題をもって取り組んでいる。

この写真は、春の浅水川で水の採取を行っている様子である。子どもたちは、このような活動を通し環境という視点から身近な自然を見つめ、意欲的に学習を進めている。

